



2021年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月13日

上場会社名 セメダイン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4999 URL <http://www.cemedine.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 天知 秀介
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 栢野 宣昭 (TEL) 03-6421-7412
 定時株主総会開催予定日 2021年6月16日 配当支払開始予定日 2021年6月17日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月16日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	25,759	△6.9	1,522	24.4	1,518	29.3	1,063	33.5
2020年3月期	27,674	0.1	1,223	△5.2	1,174	0.6	796	△21.9

(注) 包括利益 2021年3月期 1,321百万円 (72.4%) 2020年3月期 766百万円 (△12.1%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	71.00	70.40	8.5	6.8	5.9
2020年3月期	53.23	52.81	6.9	5.3	4.4

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 2百万円 2020年3月期 4百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	22,515	13,497	57.8	868.53
2020年3月期	22,371	12,325	53.1	792.85

(参考) 自己資本 2021年3月期 13,010百万円 2020年3月期 11,876百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	1,431	△336	△166	5,865
2020年3月期	1,585	△656	△181	4,939

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00	149	18.8	1.3
2021年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00	149	14.1	1.2
2022年3月期 (予想)	—	5.00	—	5.00	10.00		11.8	

3. 2022年3月期の連結業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,430	10.4	1,800	18.3	1,770	16.6	1,270	19.4	84.78

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 ② ①以外の会計方針の変更：無
 ③ 会計上の見積りの変更：無
 ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

2021年3月期	15,167,000株	2020年3月期	15,167,000株
2021年3月期	187,425株	2020年3月期	187,425株
2021年3月期	14,979,575株	2020年3月期	14,969,958株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	22,774	△5.3	1,032	41.3	1,306	42.5	986	38.9
2020年3月期	24,037	△2.0	730	△21.6	916	△17.3	710	△29.5

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	65.86	65.30
2020年3月期	47.43	47.06

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2021年3月期	20,519		11,755		57.0		780.13	
2020年3月期	20,421		10,727		52.3		712.59	

(参考) 自己資本 2021年3月期 11,685百万円 2020年3月期 10,674百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予測のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(追加情報)	13
(セグメント情報)	13
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	15
(開示の省略)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

① 当連結会計年度の経営成績

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により年度前半は経済活動が制約を受け企業収益、個人消費ともに減速しましたが、第3四半期以降は企業業績の回復や政府・自治体による政策効果により、景気に持ち直しの動きが見られました。しかしながら、年末にかけて感染が再拡大し年明けには緊急事態宣言が再発出されるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。また世界経済は、各国でワクチン接種が始まり一部の国で経済が持ち直しに転じましたが、国や地域によって回復に大きな差が生じました。

当社グループ関連業界におきましては、建築土木関連業界では新設住宅着工戸数の前年割れが続くなど低調に推移いたしました。工業関連業界では、年度前半は世界的な経済活動の停滞によりあらゆる分野で需要が低迷しましたが、第3四半期以降は中国や北米などで自動車や家電、電子機器の生産が回復に向かいました。一般消費者関連業界では、コロナ禍における外出自粛や在宅勤務の広がりなど行動様式の変化に伴い、D I Y関連の消費が堅調に推移しました。

このような状況のもと当社グループでは、取引先関係者や従業員と家族の健康と安全を最優先に考え、オンラインでの商談やテレワーク・時差通勤の実施などにより感染防止と企業活動の両立を図るとともに、継続的なコストの抑制や事業ポートフォリオの再構築、コロナ後を見据えた業務改善活動などに取り組み、企業競争力の向上に努めてまいりました。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は25,759百万円（前年同期比6.9%減）となりましたが、更なる原価低減や経費の抑制に努めた結果、営業利益は1,522百万円（前年同期比24.4%増）、経常利益は1,518百万円（前年同期比29.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,063百万円（前年同期比33.5%増）となりました。

② 市場別の状況

セグメントごとの業績につきましては、当社グループの事業は、報告セグメントが「接着剤及びシーリング材事業」のみであるため、売上状況を内部管理上の区分である市場別に区分して記載しております。

（建築土木関連市場）

内外装タイル用接着剤「セメダインタイルエースシリーズ」の拡販に努めたほか、大手ハウスメーカー向けに高付加価値シーリング材を提案するなど、積極的な販売活動を行ってまいりましたが、新型コロナウイルス感染拡大による新設住宅着工の落ち込みやリフォーム需要の減少、大型物件の改修工事延期などの影響により、売上高は11,433百万円（前年同期比8.6%減）となりました。

（工業関連市場）

自動車各社の国内外での生産回復に伴い、車載用途を中心に第3四半期以降は売上が急速に回復しており、またモバイルデバイスのディスプレイなど電機・電子部品向け売上也回復傾向にありますが、年度前半の落ち込みの影響が大きく、売上高は9,253百万円（前年同期比10.2%減）となりました。

（一般消費者関連市場）

D I Y需要の拡大を受け、補修用接着剤やシーリング材などホームセンター向けの売上が増加したことや、1分で固定できる仮止め不要の超多用途接着剤「セメダインスーパーXデュオ」を新発売するなど拡販に努めた結果、売上高は4,939百万円（前年同期比4.3%増）となりました。

（その他）

その他の売上は不動産賃貸収入であります。賃貸収入は132百万円（前年同期比3.3%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度と比較し144百万円増加し、22,515百万円となりました。これは主に、現金及び預金が925百万円増加したこと、受取手形及び売掛金、電子記録債権が合わせて387百万円減少したこと、棚卸資産が174百万円減少したこと、及び有形固定資産、無形固定資産が合わせて261百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当連結会計年度末における負債は、前連結会計年度と比較し1,027百万円減少し、9,018百万円となりました。これは主に、買掛金、電子記録債務が合わせて1,196百万円減少したこと、未払法人税等が85百万円増加したこと、及び賞与引当金が46百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は、前連結会計年度と比較し1,172百万円増加し、13,497百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益の計上などにより、利益剰余金が913百万円増加したことによるものであります。これらの要因により、自己資本比率は57.8%になりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較し925百万円増加し、5,865百万円となりました。当連結会計年度末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は1,431百万円（前年同期1,585百万円）となりました。主な増加要因は、税金等調整前当期純利益1,518百万円（前年同期1,169百万円）、減価償却費536百万円（前年同期543百万円）、売上債権の増減額415百万円（前年同期444百万円の減少）、たな卸資産の増減額168百万円（前年同期301百万円の増加）であり、主な減少要因は、仕入債務の増減額1,160百万円（前年同期121百万円の減少）、法人税等の支払額319百万円（前年同期149百万円）によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は336百万円（前年同期656百万円）となりました。主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出324百万円（前年同期498百万円）、無形固定資産取得による支出22百万円（前年同期146百万円）によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動に使用した資金は166百万円（前年同期181百万円）となりました。主な減少要因は、株主への配当149百万円（前年同期149百万円）によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
自己資本比率 (%)	47.2	49.5	52.2	53.1	57.8
時価ベースの自己資本比率 (%)	37.9	62.5	64.2	41.6	49.1
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	138.0	49.4	43.8	22.3	24.2
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	37.9	204.8	497.9	11,019.3	28,806.6

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※ いずれの指標も連結ベースの財務数値により算出しております。

※ 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済み株式総数（自己株式控除後）により算出しております。

※ 営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

※ 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を2019年3月期の期首から適用しており、2018年3月期に係るキャッシュ・フロー関連指標の推移については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等となっております。

(4) 今後の見通し

今後の市場全般の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が開始されているものの未だ収束が見通せないため、景気の先行きは不透明な状況が続くものと思われま

す。建築土木関連市場では、新設住宅着工戸数は今後も漸減傾向で推移する中で、建築物は高機能・長寿命にシフトしていくものと思われま

す。工業関連市場では、特に自動車産業でCASEが加速し、モーターや車載電装品などの需要が引き続き拡大すると見込まれます。一般消費者関連市場では、働き方の変化に伴う新しいライフスタイルが定着し、それに

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは海外に関係会社がありますが、当社グループの事業において国際的な事業展開の割合は未だ小さいことから、当面は日本基準に基づき連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,061,959	5,987,114
受取手形及び売掛金	7,313,779	6,615,003
電子記録債権	1,022,794	1,334,281
商品及び製品	1,993,651	1,930,357
仕掛品	233,911	209,672
原材料及び貯蔵品	842,800	755,356
その他	258,843	170,744
貸倒引当金	△16,155	△16,537
流動資産合計	16,711,584	16,985,991
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,284,335	6,332,187
減価償却累計額	△4,285,769	△4,404,445
建物及び構築物(純額)	1,998,565	1,927,741
機械装置及び運搬具	6,695,952	6,490,922
減価償却累計額	△5,833,362	△5,748,025
機械装置及び運搬具(純額)	862,589	742,896
工具、器具及び備品	1,369,072	1,429,674
減価償却累計額	△1,161,552	△1,184,216
工具、器具及び備品(純額)	207,520	245,457
土地	1,061,040	1,055,315
建設仮勘定	61,528	69,453
有形固定資産合計	4,191,245	4,040,864
無形固定資産		
のれん	58,476	39,582
借地権	62,689	62,689
ソフトウェア	198,040	98,449
電話加入権	13,038	13,038
ソフトウェア仮勘定	—	7,978
その他	550	400
無形固定資産合計	332,795	222,138
投資その他の資産		
投資有価証券	496,937	734,093
繰延税金資産	408,430	302,990
その他	193,657	206,928
貸倒引当金	△2,029	△1,930
投資その他の資産合計	1,096,995	1,242,082
固定資産合計	5,621,036	5,505,085
繰延資産		
開発費	38,527	24,845
繰延資産合計	38,527	24,845
資産合計	22,371,147	22,515,923

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,279,264	4,120,431
電子記録債務	1,879,822	1,842,389
未払法人税等	208,377	293,569
賞与引当金	319,083	365,661
その他	848,524	1,008,933
流動負債合計	8,535,072	7,630,985
固定負債		
繰延税金負債	45,443	43,770
退職給付に係る負債	1,037,890	952,967
その他	427,225	390,654
固定負債合計	1,510,558	1,387,393
負債合計	10,045,630	9,018,378
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,050,375	3,050,375
資本剰余金	2,588,157	2,588,157
利益剰余金	6,347,853	7,261,566
自己株式	△61,267	△61,267
株主資本合計	11,925,118	12,838,831
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△54,444	120,424
為替換算調整勘定	60,116	44,463
退職給付に係る調整累計額	△54,237	6,540
その他の包括利益累計額合計	△48,565	171,428
新株予約権	53,453	69,622
非支配株主持分	395,510	417,663
純資産合計	12,325,516	13,497,545
負債純資産合計	22,371,147	22,515,923

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	27,674,901	25,759,424
売上原価	20,118,355	18,218,159
売上総利益	7,556,546	7,541,264
販売費及び一般管理費	6,332,670	6,019,120
営業利益	1,223,875	1,522,143
営業外収益		
受取利息	1,595	1,792
受取配当金	22,706	22,611
受取保険金	32,089	—
持分法による投資利益	4,775	2,061
為替差益	—	8,840
その他	19,681	49,258
営業外収益合計	80,847	84,565
営業外費用		
支払利息	143	49
支払補償費	3,294	12,348
売上割引	54,327	52,477
為替差損	47,285	—
その他	25,073	23,488
営業外費用合計	130,125	88,364
経常利益	1,174,597	1,518,345
特別利益		
固定資産売却益	—	412
出資金清算益	—	15,880
雇用調整助成金	—	26,529
特別利益合計	—	42,821
特別損失		
固定資産除売却損	5,326	5,853
投資有価証券評価損	—	4,549
休業手当	—	31,884
特別損失合計	5,326	42,287
税金等調整前当期純利益	1,169,271	1,518,879
法人税、住民税及び事業税	278,984	404,481
法人税等調整額	18,508	2,660
法人税等合計	297,493	407,141
当期純利益	871,777	1,111,737
非支配株主に帰属する当期純利益	74,983	48,228
親会社株主に帰属する当期純利益	796,793	1,063,509

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	871,777	1,111,737
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△68,179	174,868
為替換算調整勘定	27,644	△21,020
退職給付に係る調整額	△69,082	60,777
持分法適用会社に対する持分相当額	4,511	△4,416
その他の包括利益合計	△105,105	210,209
包括利益	766,672	1,321,947
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	679,365	1,283,502
非支配株主に係る包括利益	87,306	38,444

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,050,375	2,581,581	5,700,635	△75,651	11,256,940
当期変動額					
剰余金の配当	—	—	△149,575	—	△149,575
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	796,793	—	796,793
自己株式の処分	—	6,576	—	14,383	20,960
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	—	—	—	—
当期変動額合計	—	6,576	647,217	14,383	668,177
当期末残高	3,050,375	2,588,157	6,347,853	△61,267	11,925,118

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	13,735	40,282	14,845	68,862	58,815	340,185	11,724,804
当期変動額							
剰余金の配当	—	—	—	—	—	—	△149,575
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	—	—	—	—	796,793
自己株式の処分	—	—	—	—	—	—	20,960
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△68,179	19,834	△69,082	△117,427	△5,362	55,324	△67,465
当期変動額合計	△68,179	19,834	△69,082	△117,427	△5,362	55,324	600,712
当期末残高	△54,444	60,116	△54,237	△48,565	53,453	395,510	12,325,516

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,050,375	2,588,157	6,347,853	△61,267	11,925,118
当期変動額					
剰余金の配当	—	—	△149,795	—	△149,795
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	1,063,509	—	1,063,509
自己株式の処分	—	—	—	—	—
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	—	—	—	—	—
当期変動額合計	—	—	913,713	—	913,713
当期末残高	3,050,375	2,588,157	7,261,566	△61,267	12,838,831

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	△54,444	60,116	△54,237	△48,565	53,453	395,510	12,325,516
当期変動額							
剰余金の配当	—	—	—	—	—	—	△149,795
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	—	—	—	—	1,063,509
自己株式の処分	—	—	—	—	—	—	—
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	174,868	△15,652	60,777	219,993	16,168	22,153	258,315
当期変動額合計	174,868	△15,652	60,777	219,993	16,168	22,153	1,172,028
当期末残高	120,424	44,463	6,540	171,428	69,622	417,663	13,497,545

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,169,271	1,518,879
減価償却費	543,184	536,700
固定資産除売却損益 (△は益)	5,326	5,440
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	8,123	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△6,302	46,577
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△83,356	1,559
受取利息及び受取配当金	△24,301	△24,404
支払利息	143	49
雇用調整助成金	—	△26,529
休業手当	—	31,884
出資金清算益	—	△15,880
持分法による投資損益 (△は益)	△4,775	△2,061
売上債権の増減額 (△は増加)	444,567	415,394
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△301,268	168,824
仕入債務の増減額 (△は減少)	△121,606	△1,160,461
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△12,140	131,976
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△7,191	28,046
その他	51,551	69,977
小計	1,661,226	1,725,975
利息及び配当金の受取額	29,829	29,572
利息の支払額	△143	△49
雇用調整助成金の受取額	—	26,529
休業手当の支払額	—	△31,884
法人税等の支払額	△149,122	△319,118
法人税等の還付額	43,484	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,585,274	1,431,024
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△6	△6
有形固定資産の取得による支出	△498,431	△324,710
有形固定資産の売却による収入	20	362
無形固定資産の取得による支出	△146,683	△22,508
出資金の分配による収入	—	16,280
敷金の差入による支出	△9,159	△1,475
その他	△2,630	△4,394
投資活動によるキャッシュ・フロー	△656,890	△336,453

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△149,575	△149,795
非支配株主への配当金の支払額	△31,981	△16,290
その他	44	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△181,513	△166,086
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,477	△2,626
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	740,391	925,858
現金及び現金同等物の期首残高	4,199,109	4,939,501
現金及び現金同等物の期末残高	4,939,501	5,865,359

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症による当社の経営成績、財政状況に与える影響につきましては、感染の収束が見通せず引き続き先行き不透明な状況が続くものと思われませんが、業績に対しては重要な影響はないものと仮定し、繰延税金資産の回収可能性等、会計上の見積りを行っております。

(セグメント情報等)

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)及び当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

当社グループの事業は、報告セグメントが「接着剤及びシーリング材事業」のみであり、当社グループの事業における「その他」の重要性が乏しいため、記載を省略しております。なお「その他」は不動産賃貸事業であります。

(1株当たり情報)

1株当たり純資産額及び算定上の基礎、1株当たり当期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
(1) 1株当たり純資産額	792.85円	868.53円
(算定上の基礎)		
連結貸借対照表の純資産の部の合計額(千円)	12,325,516	13,497,545
普通株式に係る純資産額(千円)	11,876,552	13,010,260
差額の主な内訳(千円)		
新株予約権	53,453	69,622
非支配株主持分	395,510	417,663
普通株式の発行済株式数(株)	15,167,000	15,167,000
普通株式の自己株式数(株)	187,425	187,425
1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数(株)	14,979,575	14,979,575

項目	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
(2) 1株当たり当期純利益金額	53.23円	71.00円
(算定上の基礎)		
連結損益計算書上の親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	796,793	1,063,509
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	796,793	1,063,509
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式の期中平均株式数(株)	14,969,958	14,979,575
(3) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	52.81円	70.40円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	117,956	127,962
(内、新株予約権(株))	(117,956)	(127,962)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式の概要	該当事項はありません。	同左

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(開示の省略)

重要な会計方針、重要な会計上の見積り、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結包括利益計算書、連結株主資本等変動計算書、連結キャッシュ・フロー計算書、リース取引、金融商品、有価証券、デリバティブ取引、退職給付、ストック・オプション等、税効果会計、資産除去債務、賃貸等不動産、関連当事者情報の注記事項については、決算短信における開示の必要性が大きくないと考えられるため開示を省略しております。